

令和8年度「豊かな心」育成プログラム

学校番号：23003

学校名：美香保小学校

改訂のポイント

- 「あいさつ運動」に関わる取組を、全校一丸となって活発化させていく。
- 意欲的に異学年交流が行われるような環境づくりや活動内容の工夫を行っていく。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「豊かな心」の育成に係る目指す子ども像	☆よりよい学校生活を送るために、自分はどうしたらよいかを考え、行動する子ども ☆自分のよいところを見付け、自信をもち、仲間と共に高め合おうとする子ども		
「豊かな心」の育成に関する成果や課題	思いやりの心を育む (儀式・学発・あいさつ)	【昨年度の具体的な取組】 ○儀式的行事や学習発表会では、全校児童が参加してお互いの姿を見合ったり、カードによってよさを認め合ったりする機会を設けた。	【成果】 ○他学年の発表の様子を見ることで、低学年は高学年へのあこがれを、高学年は低学年の手本となるように意識することができた。	【課題】 ○あいさつへの意識が全体的に停滞しているため、教職員や全児童が参加できるあいさつ運動への取組が必要。
	自己肯定感、自己有用感を育む (キラニコ・委員会・クラブ)	【昨年度の具体的な取組】 ○話し合いの場を設けて、自分たちの力で計画を立てたり実行したりする機会を設けた。また、休み時間の集会を企画するなど、異学年交流の場を工夫した。	【成果】 ○キラニコタイムミニを設定することで、日常でも異学年と交流をもつ機会が増えた。 ○自治的な活動を意識することで、自己有用感を育むことができた。	【課題】 ○キラニコ活動では、小グループでの活動機会が少なかった。また、年間を通した目指す姿をより明確にする必要がある。
	組織的ないじめ・不登校防止の取組	【昨年度の具体的な取組】 ○教育委員会「悩みやいじめアンケート」、学校独自の生活アンケートを実施・内容の把握に努めた。また、シャボテンの活用だけでなく、学校独自の隔週のシャボテン質問デーを取り入れることで、児童の様子を把握したり、組織的な対応したりすることを目指した。	【成果】 ○生徒指導データベースやシャボテンを活用することで、全体周知及び、組織対応の実施につながった。また、月に一度のいじめ防止対策委員会の実施をすることで、対応の必要な児童について担当職員で検討することができた。	【課題】 ○アンケート後の聞き取りから、いじめ防止対策委員会の実施までに期間があいてしまうことがあった。早期対応をしていくために、シャボテンや生徒指導情報データベースを生かしていく。それらを活用し、より早く組織対応ができる体制を整える必要がある。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 ○互いに思いやりをもてるような「あいさつ運動」の強化と継続。 ○意欲的にかかわる異学年交流を目指し、活動内容や場の設定を工夫する。		
	具体的な改善策（取組）	【思いやりの心を育む】 ○儀式的行事・学習発表会・異学年活動などの活動を通して、自分と他学年のよさを認め合う意識を高める。 ○「あいさつ週間」に全学年の児童・代表委員会・教職員全体で取り組み、継続する。 日常でも盛んに挨拶ができるよう働きかける。		道徳の授業で学んだ道徳的価値や感じ方、考え方などを、左の取組の中で想起できるように関連付ける。 道徳教育推進教師と共に、道徳教育の指導計画に基づき、検証・実施・改善をしていく。
		【自己肯定感、自己有用感を育む】 ○委員会活動では、子どもの考えを生かした創造的活動、自治的活動を工夫できるようにかかわる。 ○誰もが意欲的に異学年交流ができるよう、内容を充実させたり工夫したりする。 【組織的な不登校防止の取組】 ○不登校傾向児童への対応について生徒指導情報データベースに載せ組織での把握・対応を目指す。 ○引継ぎを丁寧に行うとともに全教職員による情報共有をしっかりと行う。		
方法の検証	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○学校独自の児童アンケートや保護者アンケートによる調査 ○年度末学校評価を通しての教職員での自己評価や学校関係者評価委員会による外部評価の活用		